

人口減少対策や中東情勢の変化への対応など活発に議論

しまね 6月定例会 県議会だより

公立高校改革への対応など総額約98億円の補正予算案

島根県議会6月定例会は、6月9日から7月2日までの24日間開催されました。今定例会より議長に就任した山根議長はあいさつで、目下、最大の問題は人口減少であること、また、長引くエネルギー・物価高騰により県民の生活や地域経済はより厳しいものになっていることに加え、緊迫化する中東情勢の長期化による県内経済や市民生活への影響の懸念について触れました。そして、本議会での活発な議論

島根県食肉公社の再整備の基本的な方向性について現在の検討状況は

(知事)整備計画の検討に積極的に参画するとともに、必要な対応を検討してまいりたい。

一般質問

農業振興に於ける攻めの事業展開について
生越 俊一 議員

果たしている。一方で老朽化が進んでおり、建て替えの時期を迎えている。再整備の基本的な方向性について、現在の検討状況を伺う。

【答】出資者でもある県として、この整備計画の検討に積極的に参画するとともに、この公社の資金計画などの状況も踏ま

えて必要な対応を検討してまいりたい。

しまね消防団応援の店の制度について
嘉本 祐一 議員

文部科学省から具体的な安全対策が示されておらず判断材料がそろっていない。一方、遠征の際、保護者負担が大幅に増え部活動継続が困難となる場合は、財政支援に向けての重要な判断要素となる。

【問】制度が導入されてから10年余りが経過した。現況と今後の取組について伺う。

【答】協賛店舗数は平成27年12月制度開始時には1店舗からスタートしたが、令和2年度末277店舗、令和7年度末306店舗で推移。うち特典提供店舗は146店舗に増加した。消防団の皆さんはもとより、その活動を支えておられる御家族の励みとなるよう、引き続き特典提供店舗数の拡大に向け取り組んでいく。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】民間工事が減少する中、県も工事発注を見合わせている事業がある。事業振替や細分化、スライド条項適用や工期延長

【問】民間工事が減少する中、県も工事発注を見合わせている事業がある。事業振替や細分化、スライド条項適用や工期延長

【問】民間工事が減少する中、県も工事発注を見合わせている事業がある。事業振替や細分化、スライド条項適用や工期延長

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。

【問】介護分野における人手不足が深刻化する中、介護者が利用する向き合う時間を確保するため、テクノロジ導入の成功事例を広く普及啓発する取組が必要と考えるが、県の考えを伺う。



議員から提案された2件の意見書を可決しました

- 再審制度の見直しに向けた刑事訴訟法の改正を求める意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書

※意見書の全文は、島根県議会ホームページで見ることができます。
(<https://www.pref.shimane.lg.jp/gikai/ugoki/saikin/r0806/>)

6月定例会で可決等された議案

知事提出議案(20件)

- ◇令和8年度島根県一般会計補正予算案など予算案(4件)
- ◇条例案(6件)
 - ▽特別職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例
 - ▽その他5件
- ◇一般事件案(10件)
 - ▽島根県公安委員会委員任命の同意について
 - ▽その他9件

議員提出議案(3件)

- ◇条例案(1件)
 - ▽議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当支給条例の一部を改正する条例
- ◇意見書(2件)
 - ▽再審制度の見直しに向けた刑事訴訟法の改正を求める意見書
 - ▽地方財政の充実・強化を求める意見書

令和8年度6月補正予算の概要

- ・公立高校改革への対応
- ・交通安全施設の整備
- ・中小企業等への支援
- ・大規模投資に向けた計画策定への支援
- ・災害時等における歯科保健医療提供体制の整備
- ・遊漁船の安全対策強化への支援
- ・LPガス消費者への支援
- ・特別高圧電力利用者への支援
- ・農業水利施設の電気料金等への支援 等

6月補正後の一般会計予算額は5,022億円となります。

議長・副議長が選出されました



議長 **山根 成二**(75歳) 雲南・飯石選挙区4期
副議長 **吉田 雅紀**(67歳) 隠岐選挙区3期

6月定例議会で議長に山根成二議員が、副議長に吉田雅紀議員が選任されました。山根議長は就任のあいさつで「第2期島根創生の取組を進め、人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根づくりに寄与できるよう、誠心誠意努めていく」と決意を述べました。

【問】介護休業制度は、主に高齢者を対象としたものであったが、不登校家庭においてこの制度を利用することが可能な場合があると、令和7年11月に厚生労働省・文部科学省が作成したチラシにおいて示された。保護者や県内企業に対してどのように周知広報を行っているのか、県の役割について伺う。

【答】県内の経済団体など、使用者側と労働団体などに意見を聞くところから始めていく。

【問】現在、社会変化、テクノロジ進化に伴う行政サービスの将来像をどのように描いているのか伺う。

【答】様々なテクノロジの進化により社会生活や経済活動などで利便性が大きく向上し、社会変化が起こっている。適切に活用し業務効率化を図り、生み出された時間を県民の皆様へ寄り添った業務や政策立案などにいかさない業務に充て、より質の高い行政サービスの提供を目指したい。

【問】大橋川改修に係る現状と課題について

岸 道二 議員

【問】治水3点セットのうち、残された大橋川改修の早期完了への期待について伺う。

【答】松江市を中心に沿川地域の家屋を浸水被害から守るため、下流部の大橋川改修及び六道湖、中海の湖岸堤整備の早期完成が必要。重要望などの様々な機会を通じて必要な予算の確保と着実な整備を国に働きかけるとともに、国や松江市と緊密に連携を図り、関連する事業の推進に努めます。

【問】県教育委員会が実施した「教職員の休憩時間・持ち帰り仕事等の実態調査」で、勤務日において「全く休憩できなかった」人が小学校では約4割に上っており、トイレに行く時間もままならないとの声を聞いている。現場の実態を正確に把握するため、勤務実態調査を行うべきと考えるが、どうか。

【答】実態把握は必要であり、市町村教育委員会とも連携しながら、調査の方策を研究する。

しまね消防団応援の店制度導入後10年の現況と今後の課題は

(防災部長)特典提供店舗数は増加しており、消防団員と家族の励みとなるよう、店舗数の拡大に向け取り組んでいく。

県立大学の取組について
園山 繁議員

【問】島根県立大学は、医療や福祉、教育など、県内のあらゆる分野に必要人材を育成・輩出するの気概で、県内高校生の進学割合を増加させる方針を掲げるが、知事の所見は。

【答】県立大学は第4期中期目標で地域に貢献する人材を輩出する大学を目指し、入学者に占める県内出身者を55%、県内就職率を50%とする取組を教職員が一人として進めており、目標達成に必要な支援を講ずる考えである。

大田市を取り巻く道路ネットワークについて
内藤 芳秀議員

【問】県道三瓶山公園線と県道仁摩邑南線の道路

一問一答

【問】県内公立小中学校の今後について
福井 竜夫議員

【問】小中学校が一校ずつの「一小一中の自治体が増える中、近隣市町村が連携した複数自治体による学校運営の検討を加速するため、公立小中学校の統廃合の手引き改訂を文科省は検討すると考えるが、県教委としての所感を伺う。

【答】小中学校の適正規模、適正配置の検討は文科省において更新される手引きの内容を踏まえ、まず市町村で検討していただく。更新の内容は県教委も注視していく。

【問】思いやり駐車場制度について
中村 絢議員

【問】思いやり駐車場利用証を取得するため、妊婦の方が改めて窓口へ赴くこと自体が負担となる地域も少なくない。制度を利用できる制度に留めるのではなく、必要な人

獣医師確保に向けた施策・財政的支援を

(知事)偏在解消につながる施策の実施と特別交付税措置など県独自支援の拡充を求める。

【問】以前から獣医師不足は深刻な状態であり、確保に向け様々な取組をされているが、県だけの努力では限界がある。国に対して厳しい実情を訴え、地方に獣医師が定着するような施策や県への財政的支援などを求めることについて見解を伺う。

【答】今までも要望しているが、引き続き偏在解消につながる施策の実施を求めるとともに、特別交付税の措置など県独自の取組みへの支援を求めている。

【問】主権者教育の充実について
岩田 浩岳議員

【問】主権者教育について県立高校で、議会と連携した出前講座、模擬議会、議員との意見交換などを広げていくことについて県教委の考えを伺う。

【答】議会と連携をした取組は、生徒が地方自治や議会の役割を身近に感じ、社会や地域課題について主体的に考える機会となるので有意義なものと考えている。高校の主体的な取組を尊重しながら議会と連携した主権者教育

【問】松江市を中心に沿川地域の家屋を浸水被害から守るため、下流部の大橋川改修及び六道湖、中海の湖岸堤整備の早期完成が必要。重要望などの様々な機会を通じて必要な予算の確保と着実な整備を国に働きかけるとともに、国や松江市と緊密に連携を図り、関連する事業の推進に努めます。

【問】教職員の勤務実態調査を実施すべき
尾村 利成議員

【問】介護休業制度は、主に高齢者を対象としたものであったが、不登校家庭においてこの制度を利用することが可能な場合があると、令和7年11月に厚生労働省・文部科学省が作成したチラシにおいて示された。保護者や県内企業に対してどのように周知広報を行っているのか、県の役割について伺う。

【答】様々なテクノロジの進化により社会生活や経済活動などで利便性が大きく向上し、社会変化が起こっている。適切に活用し業務効率化を図り、生み出された時間を県民の皆様へ寄り添った業務や政策立案などにいかさない業務に充て、より質の高い行政サービスの提供を目指したい。

【問】大橋川改修に係る現状と課題について

岸 道二 議員

【問】治水3点セットのうち、残された大橋川改修の早期完了への期待について伺う。

【答】松江市を中心に沿川地域の家屋を浸水被害から守るため、下流部の大橋川改修及び六道湖、中海の湖岸堤整備の早期完成が必要。重要望などの様々な機会を通じて必要な予算の確保と着実な整備を国に働きかけるとともに、国や松江市と緊密に連携を図り、関連する事業の推進に努めます。

【問】県教育委員会が実施した「教職員の休憩時間・持ち帰り仕事等の実態調査」で、勤務日において「全く休憩できなかった」人が小学校では約4割に上っており、トイレに行く時間もままならないとの声を聞いている。現場の実態を正確に把握するため、勤務実態調査を行うべきと考えるが、どうか。

【答】実態把握は必要であり、市町村教育委員会とも連携しながら、調査の方策を研究する。

【問】食中毒事件の公表について、食中毒の原因となった営業者への配慮はどのようになされているのかを伺う。

【答】公表の目的が処罰であるかのように誤って認識されないことも重要と考えており、報道発表資料には、公表の目的は処罰ではなく食品衛生上の被害の発生防止である旨を記載することとした。また、公表期間の短縮についても検討してまいります。

【問】部活動の地域展開に
久城 恵治議員

【問】部活動の地域展開はどうあるべきか考えを伺う。

【問】リンパ浮腫の支援体制について
岡崎 綾子議員

【問】リンパ浮腫患者が安心して継続的なケアを受けられるよう、手術を担う基幹病院とかかりつけ医等との診療ネットワーク構築に向けた県の見解を伺う。

【答】がん連携支援拠点病院でリンパ浮腫診療に力を入れている。適切な研修会を実施し、かかりつけ医を含めた医療従事者の関心を高め、かかりつけ医と拠点病院との連携が円滑に行われるよう工夫していきたいと考えている。

【問】様々なテクノロジの進化により社会生活や経済活動などで利便性が大きく向上し、社会変化が起こっている。適切に活用し業務効率化を図り、生み出された時間を県民の皆様へ寄り添った業務や政策立案などにいかさない業務に充て、より質の高い行政サービスの提供を目指したい。

【問】現在、社会変化、テクノロジ進化に伴う行政サービスの将来像をどのように描いているのか伺う。

【答】様々なテクノロジの進化により社会生活や経済活動などで利便性が大きく向上し、社会変化が起こっている。適切に活用し業務効率化を図り、生み出された時間を県民の皆様へ寄り添った業務や政策立案などにいかさない業務に充て、より質の高い行政サービスの提供を目指したい。

【問】大橋川改修に係る現状と課題について

岸 道二 議員

【問】治水3点セットのうち、残された大橋川改修の早期完了への期待について伺う。

【答】松江市を中心に沿川地域の家屋を浸水被害から守るため、下流部の大橋川改修及び六道湖、中海の湖岸堤整備の早期完成が必要。重要望などの様々な機会を通じて必要な予算の確保と着実な整備を国に働きかけるとともに、国や松江市と緊密に連携を図り、関連する事業の推進に努めます。

【問】教職員の勤務実態調査を実施すべき
尾村 利成議員